

複写をご希望される方へ

愛知学院大学薬学会は、本紙掲載著作物の複写に関する権利を一般社団法人学術著作権協会に委託しております。

本誌に掲載された著作物の複写を希望される方は、一般社団法人学術著作権協会より許諾を受けてください。但し、公益社団法人日本複写権センター（同協会より権利を再委託）と包括複写許諾契約を締結されている企業の方にはその必要はありません（社外頒布目的の複写については許諾が必要です）。

権利委託先 一般社団法人 学術著作権協会
〒107-0052 東京都港区赤坂 9-6-41 乃木坂ビル
TEL：03-3475-5618 FAX：03-3475-5619
E-mail：info@jaacc.jp

なお、著作物の転載・翻訳等のような複写以外の許諾は、一般社団法人学術著作権協会に委託しておりません。直接本会へお問い合わせください。

問い合わせ先 愛知学院大学薬学会
TEL：052-751-2561 FAX：052-757-6799

また、アメリカ合衆国において本書を複写したい場合は、次の団体に連絡ください。

Copyright Clearance Center, Inc.
222 Rosewood Drive, Danvers, MA 01923 USA
Phone 1-978-750-8400 FAX 1-978-646-8600

編集査読委員

村木克彦、安池修之、小幡 徹、
小川法子、加藤文子、徳本真紀、渡邊法男

編集後記

延期されていた東京オリンピック 2020 の開催やコロナワクチンの職域接種、緊急事態宣言の発出などと、「with コロナ」の一年でした。秋には緊急事態宣言も解除されましたが、年中なんらかの宣言が発出されていた感があります。大学は相変わらずの対面/遠隔のハイブリッド講義が続いています。多くの学会もオンラインで開催されています。Web 開催は手軽に参加できるメリットはありますが、参加者の雰囲気や反応も解らないのでいまいち盛り上がりには欠けますね。大学の講義でも、学生がいない講義室で一人で話していると、虚しくなってきます。半分でも学生がいてくれて良かったと思います。このようなスタイルが今後のスタンダードになるのかは解りませんが、試行錯誤して学生によりよい学習環境を提供しなければいけないなと感じております。

(小幡 徹)